



ふじあざみ



FUJI SABO news

No.
113

令和2年4月

国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

■富士山噴火時の富士砂防事務所の役割

富士砂防事務所は、噴火に伴う土砂災害（降灰後の土石流、融雪型火山泥流、溶岩流）に対して、住民等の被害をできる限り軽減（減災）することを目的に、ソフト対策とハード対策からなる基本対策と緊急対策を実施します。

	ハード対策	ソフト対策
基本対策	 砂防堰堤(富士山) 沈砂地(富士山)	 監視カメラ(富士山) 土石流検知装置(富士山)
緊急対策	 コンクリートブロック備蓄(浅間山) ブロック堰堤(H26御嶽山)	 リアルタイムハザードマップ 降灰量調査演習

地域の防災減災

避難の参考となり得る情報の提供

■ハード対策における取組

富士砂防事務所では、富士山の噴火現象に対する「ハード対策」として、砂防堰堤や沈砂地等の整備を平常時から計画的に行うとともに、緊急時に備蓄ブロックを用いて堰堤を緊急整備する等の対応により、被害の軽減を図ります。令和元年度は緊急時におけるハード対策として平常時からブロックの備蓄及び既設砂防堰堤の除石を行いました。



北麓緊急減災対策工(ブロックの備蓄)
富士河口湖町船津地区



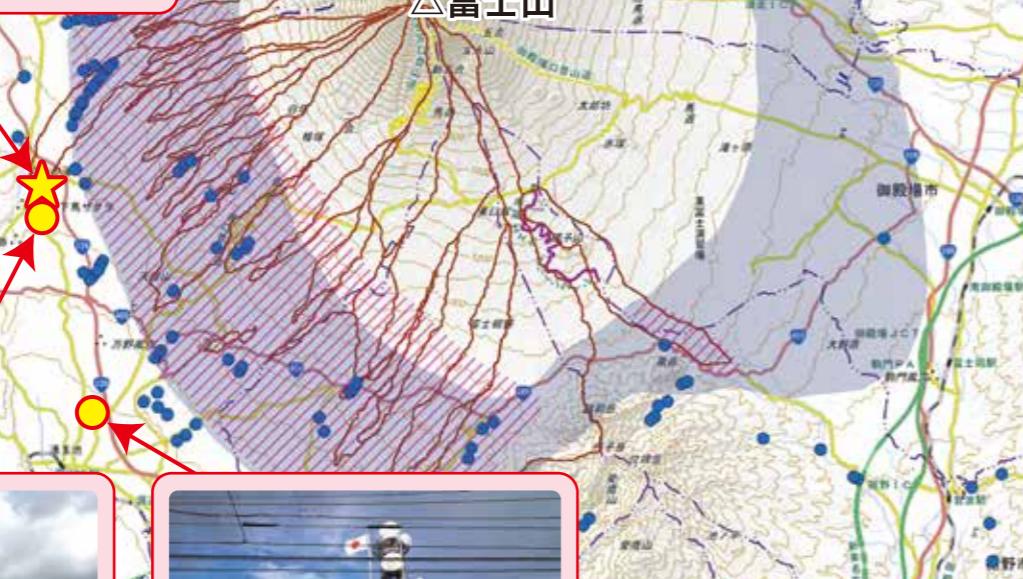
富士山北麓火山防災ステーション
富士河口湖町小立1204-1



北麓緊急減災対策工(宮川の除石)
富士吉田市上吉田地区



南麓緊急減災対策工(ブロックの備蓄)
富士宮市上井出地区



富士宮砂防出張所
富士宮市上井出1321-9



富士砂防事務所
富士宮市三園平1100

凡 例

- 既設砂防施設の整備箇所
- 基本ハード対策が必要なエリア
- 緊急ハード対策が必要なエリア
- 富士砂防事務所の庁舎
- ★ ハード対策実施箇所

■ソフト対策における取組

●富士山噴火を想定した火山灰の緊急調査演習

富士山噴火時には、土砂災害防止法に基づく緊急調査として降灰状況調査を行うことが想定されます。本事務所と(一社)静岡県建設コンサルタント協会で締結している「災害等による緊急的な応急対策支援に関する協定」に基づき、本事務所職員と(一社)静岡県建設コンサルタント協会の方々を対象に、演習を実施しました。



降灰量調査の演習



浸透能調査の演習



座学の様子

○降灰量調査:火山灰の堆積状況を把握するための調査 ○浸透能調査:火山灰による土壤浸透能低下を確認する調査

●富士山火山噴火に伴う緊急調査等合同訓練

富士山火山噴火の降灰を想定し、土砂災害防止法に基づく緊急調査や、二次災害防止等の対応について連携を強化するため、周辺自治体、山梨県、関東・中部両地方整備局による合同演習を実施しました。本演習では噴火による降灰が発生した際の各機関の対応や連携について、DIG方式により議論を交わしました。

※DIGとは図上訓練で、想定される被害や災害により発生する被害に対して取るべき対応などをイメージし、対処策を検討するものです。



緊急調査訓練(質疑応答型)



緊急調査訓練(ワークショップ DIG方式)



観測機器、警戒避難対応について発表

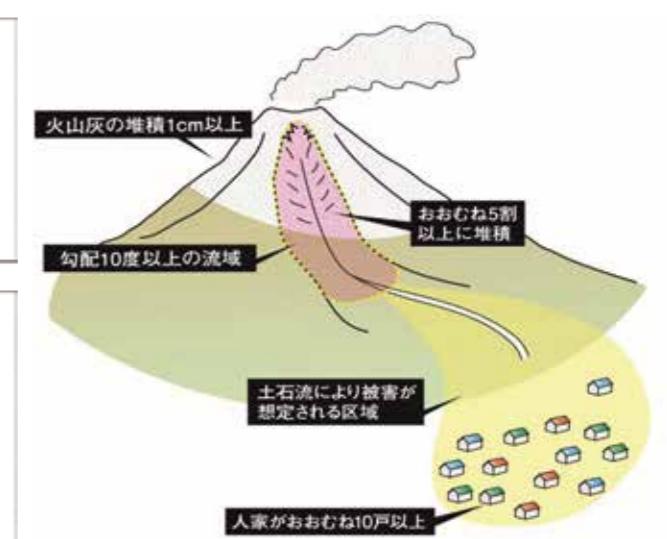
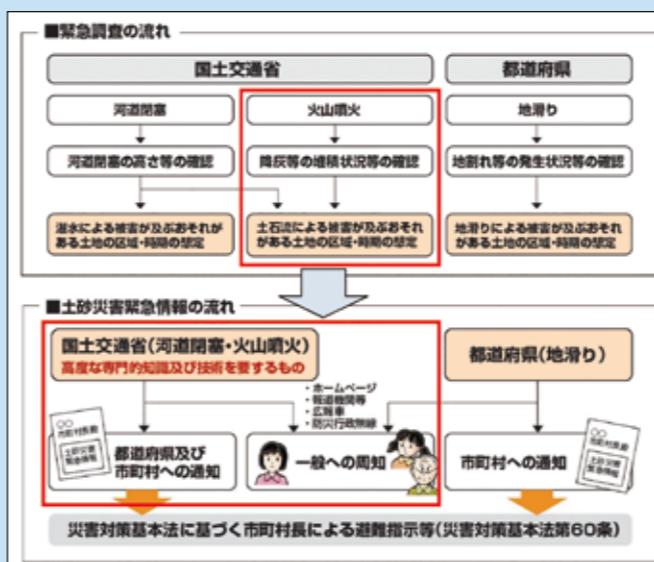
●土砂災害防止法における「緊急調査」及び「土砂災害緊急情報」の概要

大規模な土砂災害が急迫している状況において、市町村が適切に住民の避難指示の判断等を行えるように、特に高度な技術を必要とする土砂災害については国土交通省が、他の土砂災害については都道府県が、被害の想定される区域・時期の情報を提供することとしています。

■火山噴火に起因する土石流<国土交通省により実施>

○河川の勾配が10度以上ある区域のおおむね5割以上に1cm以上の降灰等が堆積した場合

○おおむね10戸以上の人家に被害が想定される場合



※国土交通省又は都道府県は、土砂災害緊急情報のほか、緊急調査により得られた情報を、国土交通省は関係する都道府県及び市町村に、都道府県は関係する市町村に隨時提供することとしています。

土砂災害から命を守るために

■防災意識を向上させ、素早い避難につなげましょう！

【静岡県 防災】
(@shizuoka_bosai)



【山梨県 防災】
(@bosaiyamanashi)



静岡県と山梨県では、頻発化、激甚化する自然災害から県民を守るため、すばやい避難行動を促すように、Twitterで各種気象警報や避難勧告等の防災情報を投稿しています。両県Twitterでは、静岡県は日頃から防災を意識してもらうため、防災関連講座などを案内し、山梨県は「Twitterアラート」という機能を活かして緊急情報を伝えたりしています。日頃から防災意識を向上させ、緊急時のすばやい避難につなげましょう。

イベント報告

■12/7「サイエンスワールド」に出展

富士宮市民文化会館で「第17回 サイエンスワールド」が開催され、サイエンスショーや、地元企業、学生、有志団体による出展が数多くありました。

当事務所も出展し、溶岩シミュレータや土石流実験などを地元の方々などに体験して頂く中で、「砂防」について知っていました。



■12/15 JR東海「さわやかウォーキング」で 由比地すべり対策事業を説明

JR東海主催のさわやかウォーキングが開催され、コース内の由比地すべり管理センターで土砂災害の歴史や地すべり対策について説明しました。会場では清水区広報キャラクターのシズラがお出迎えしてくれるなど好評を博し、約800人の方に立ち寄って頂きました。



■1/29 大規模土砂災害を想定した合同演習を開催

当事務所初となる「大規模土砂災害を想定した合同演習」を静岡県、富士宮市、中部地方整備局の防災担当部署の方々と共に実施しました。座学では、富士山周辺におけるスラッシュ雪崩の発生・流下特性と対策について、静岡大学の今泉准教授にご講演いただきました。演習では、富士山でスラッシュ雪崩が発生したことを想定し、各行政機関同士の情報共有体制や役割分担について確認しました。



●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せください。

編集作成

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100
TEL 0544-27-5221 FAX 0544-27-8759
E-mail cbr-fujisabo@mlit.go.jp 担当／用地課

- 富士宮砂防出張所 〒418-0103 静岡県富士宮市上井出1321-9
- 由比出張所 〒424-0922 静岡市清水区日の出町9-1(清水港湾合同庁舎6階)
- 富士山北麓火山防災ステーション 〒401-0302 山梨県南都留郡富士河口湖町小立1204-1(山梨県道路公社富士山有料道路管理事務所1階)
★現場見学などについては、富士砂防事務所HPの「現場見学・出前講座」の欄をご覧ください。
★ふじあざみのバックナンバーは富士砂防事務所HPからご覧いただけます。

URL <https://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>



@cbr.fujisabo

協力：静岡県 砂防課
山梨県 砂防課

TEL 0544-54-0236
TEL 054-355-1205

TEL 0555-83-5720

@mlit_fujisabo

「ふじあざみ」は土砂災害による死者ゼロを目指し、土砂災害への理解を深め、地域防災力を高めることを目的として発行しています。

また、掲載内容等は、発行時点のものであり、今後、内容に変更等が生じる場合もあります。

■12/19「工事安全協議会」を開催

建設労働災害の防止・安全管理意識の向上を図るため、「富士砂防事務所工事安全協議会」を開催しました。



午前は工事現場での合同安全パトロールを実施、午後は工事担当者による現場での安全対策の取組の発表がされました。

研究発表では、(株)早野組 町田恭一郎氏が最優秀賞、(株)大森工務所 佐藤欣一氏、大旺新洋(株)西村皓也氏が優秀賞を受賞されました。

■2/22~23「なんでも富士山」に参加

世界文化遺産「富士山」に関する情報を発信するイベント「なんでも富士山2020」に参加し、富士山の火山防災を中心に説明を行いました。

また、土石流実験の模型や赤色立体図などを展示し、多くの方に見学して頂きました。

